

ふじのくにガストロノミーツーリズム推進方針

多彩で高品質な食材と文化・観光資源を活用し、本県の食と食文化を楽しめる来訪者満足度が高いツーリズムを興すことで、国内外からの誘客促進と地域の魅力向上を図る
～「食材の王国」ふじのくに 新時代の食体験への挑戦～

目指す姿

- 本県の多彩な食材を生かした質の高い食体験ができる場所が県内に多数存在している
- 本県の食・食文化の魅力が国内外に認識され、高く評価されることによって、食・食文化の体験を主要な観光目的として本県を訪れる人が増える

【ブランドメッセージ】

日本一の高さを誇る富士の山、日本一の深さを抱く駿河の海、南アルプスから流れてくる清らかな水。
そして、雄大な自然がもたらす日本一多彩な食材たち。
ふじのくにの人々は、東西の都をつなぐ東海道を行き交う旅人に、大地の恵みと人々の想いが織りなす旬のご馳走をふるまい、豊かな食文化を築いてきました。
海のもの、山のもの、その全てに感謝し、古からそして未来に静岡の食の豊かさを繋げています。
いつ訪れてもこの地に溢れる旬の美味を巡りながら、美味しさの背景にある物語を紐解き味わい尽くす旅を、雄大な自然と共に楽しみください。

定義

その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的としたツーリズム

【ふじのくにガストロノミーツーリズムに必要なこと】

- ① 地域の旬の食材や料理を味わえる
- ② 地域の食文化を体験できる
- ③ 食（生産や料理など）の背景がわかる
- ④ 地域の生産者や料理人と交流できる
- ⑤ 地域の地理・歴史・文化を体験できる
- ⑥ 持続可能な資源と暮らしを考えるきっかけが得られる

推進体制

ふじのくにガストロノミーツーリズムの確立のため、料理人、生産者、観光事業者をはじめとした、様々な関係者との連携を強化する

ガストロノミーツーリズムプラットフォーム

ガストロノミーツーリズム推進協議会と食の情報センター（仮）からなるプラットフォームを構築

ガストロノミーツーリズム推進協議会

・産官学民を構成員としたネットワーク体制を構築し、情報共有とツーリズムの推進を図る

食の情報センター（仮）

・食・食文化・観光情報の収集と一体的な発信を行う

・料理人
・生産者
・観光事業者
・静岡新食文化共創機構
・有識者
・メディア

関係者

・県観光協会
・市町観光協会
・DMO
・県ホテル旅館生活衛生同業組合

観光関係団体

・県農林水産業振興会
・県産業振興財団
・県商工会議所連合会
・県商工会連合会
・県中小企業団体中央会
・県酒造組合

産業界

・静岡県（庁内キンググループ関係部局）
・市町関係課
・ふじのくに地域・大学コンソーシアム

行政・教育

方向性

質	①食・食文化に関する体系的な情報の充実、教育普及 食の情報センターの設置、研究会の開催 食文化のデータ蓄積・調査	情報整理・蓄積され、誰でも自由に活用できることに加え、深掘りされた食と食文化の価値が県民に理解される
の	②次世代・中核人材の育成、推進体制の充実 推進協議会の立ち上げ 若い世代を対象とした「食の都の授業」開催	推進の中核を担う、生産者、料理人、観光事業者が連携できる体制が整備されている
向	③食体験の質向上、差別化 SDGs認証制度（生産者・飲食店） レストランフェアの開催	SDGsの観点から、県産食材の利用が進むとともに、多様な食に対応できる
上	④食・食文化を活かした新たな観光サービスの創出 コーディネーター配置、旅行商品造成支援	食・食文化の魅力が最大限に発揮された観光サービス・ツアーが開発される
来	⑤ターゲットの明確化と効果的な情報発信 ファムトリップ、ダイニングアウト、フォーラム、スタディツアー	本県のブランド価値がストーリーとともに発信され、国内外に認識される
訪		
促		
進		

目指す姿の実現